

農事組合法人 ひじきファーム・企業組合 しゅんさいこうぼう え 旬菜工房笑み ひじき 【伊賀市比自岐地区】

- 地域の農地を守るため、農地中間管理事業の活用により**集落営農法人に農地を集積！**
- 農家の女性を中心となり**加工部門を担う企業組合を設立、集落営農法人と連携して農村を活性化！**

取組地域の概要

比自岐地区は、伊賀市の南東部にある典型的な水田農業地域で、地域内を流れる比自岐川、御代川の豊富な水を活かし、「コシヒカリ」を主力品種とする伊賀米が生産されている。

近鉄伊賀神戸駅まで車で10分程度、伊賀市中心部まで車で20分程度と比較的交通に恵まれた地域であるが、高齢化率は40%を超えている。



比自岐地区の風景

取組の背景

高齢化や後継者不足、過疎化の進展などにより、水田の維持や地域の活力低下が懸念される状況であった。

集落の水田を維持するため、平成23年に営農組織・農事組合法人「ひじきファーム」が設立された。さらに、女性や高齢者が活躍できる新たな事業の創出に向け、平成26年に農産物の販売と農産物加工品の製造・販売を行う企業組合「旬彩工房 笑み」が設立された。

取組のポイント

ポイント1 農地集積と多様な取組による収益の確保

- ・平成27年から、農地中間管理事業の活用により「ひじきファーム」への農地集積に取り組み、平成29年度までに地域の約53%の水田を集積した。
- ・収益の確保に向け、水稻、小麦、大豆に加え、水稻種子、飼料米、菜種、野菜を栽培している。

ポイント2 農産物加工所の整備と鳥羽市答志島とのコラボ商品の開発・販売

- ・「旬彩工房 笑み」では、平成26年に農産物加工所を整備し、地域の農産物を用いた加工品（こんにやく、漬物、惣菜等）を製造し、近隣の農産物直売所等で販売している。
- ・「山の比自岐」と「海のひじき（海藻）」を掛け、鳥羽市答志島と地域間交流を行っており、朝市の相互開催や双方の特産物を活かした商品の製造・販売に取り組んでいる。



左：「答志島」とのコラボ商品
「茎わかめとしいたけの佃煮」
右：比自岐こんにやく

ポイント3 「ひじきファーム」と「旬菜工房 笑み」の協力

- ・相互に協力して、加工品の製造・販売に取り組むとともに、共同で農村交流イベントも開催している。

今後の展望

- ・「ひじきファーム」は引き続き農地の集積を図り、効率の良い農業経営をめざす。
- ・「旬彩工房 笑み」は農業体験イベントの充実等を検討していく。

◆本事例に関する問い合わせ先◆

三重県伊賀農林事務所農政室地域農政課
電話 0595-24-8108